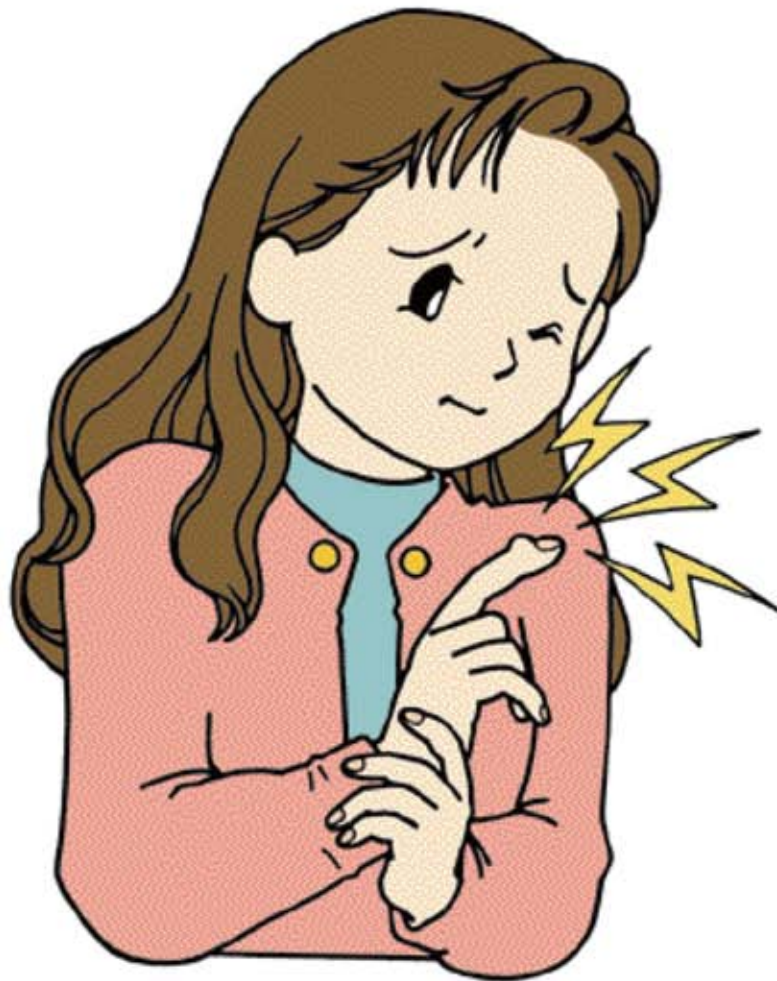


手外科シリーズ

11. 爪周囲炎



監修
一般社団法人
日本手外科学会広報委員会



制作
エーザイ株式会社



つめ しゅう い えん

爪周囲炎

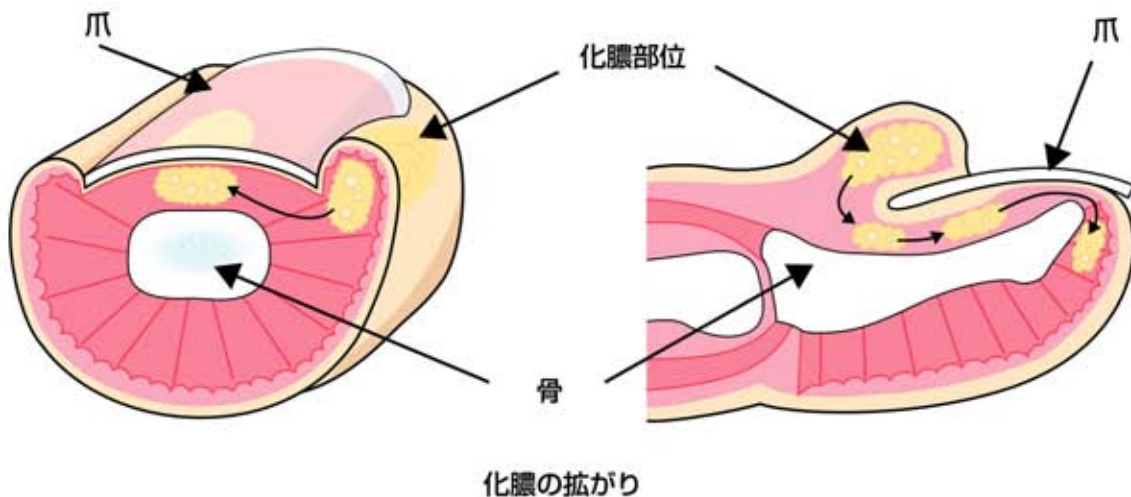
● 症状 ●

急性炎症では爪の周囲の痛み、発赤、腫れがあり、進行すると膿がたまり^{うみ}ます。ずきずきする痛みで、眠れないこともあります。



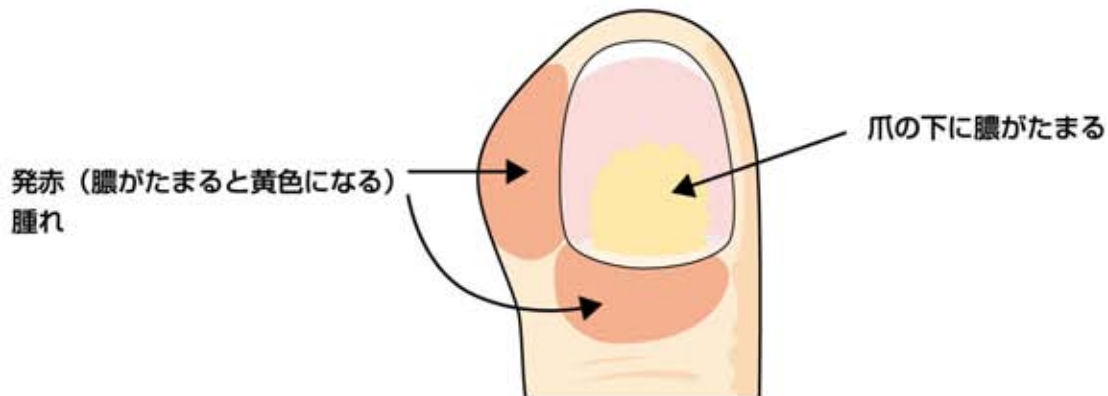
● 原因・病態 ●

爪周囲炎は、ささくれ(さかむけ)、ふかづめ、陥入爪、マニキュア、爪を噛むくせなどの原因で化膿菌が侵入して発生し、爪の根もとに向かって化膿が進んでいきます。(この他にも、指先の腹側が化膿するひょう疽という病態があります。)



● 診断 ●

爪の側面、爪の付け根の痛み、発赤、腫れがあらわれ、進行すると膿がたまって黄色くなります。爪の下に膿がたまることもあります。このような所見があれば、爪周囲炎と診断します。



● 治療 ●

初期には抗生物質と冷湿布で治療します。膿がたまっているときは、切開します。爪の下にまで膿がたまっていれば、爪を切除して膿を出す必要があります。

